

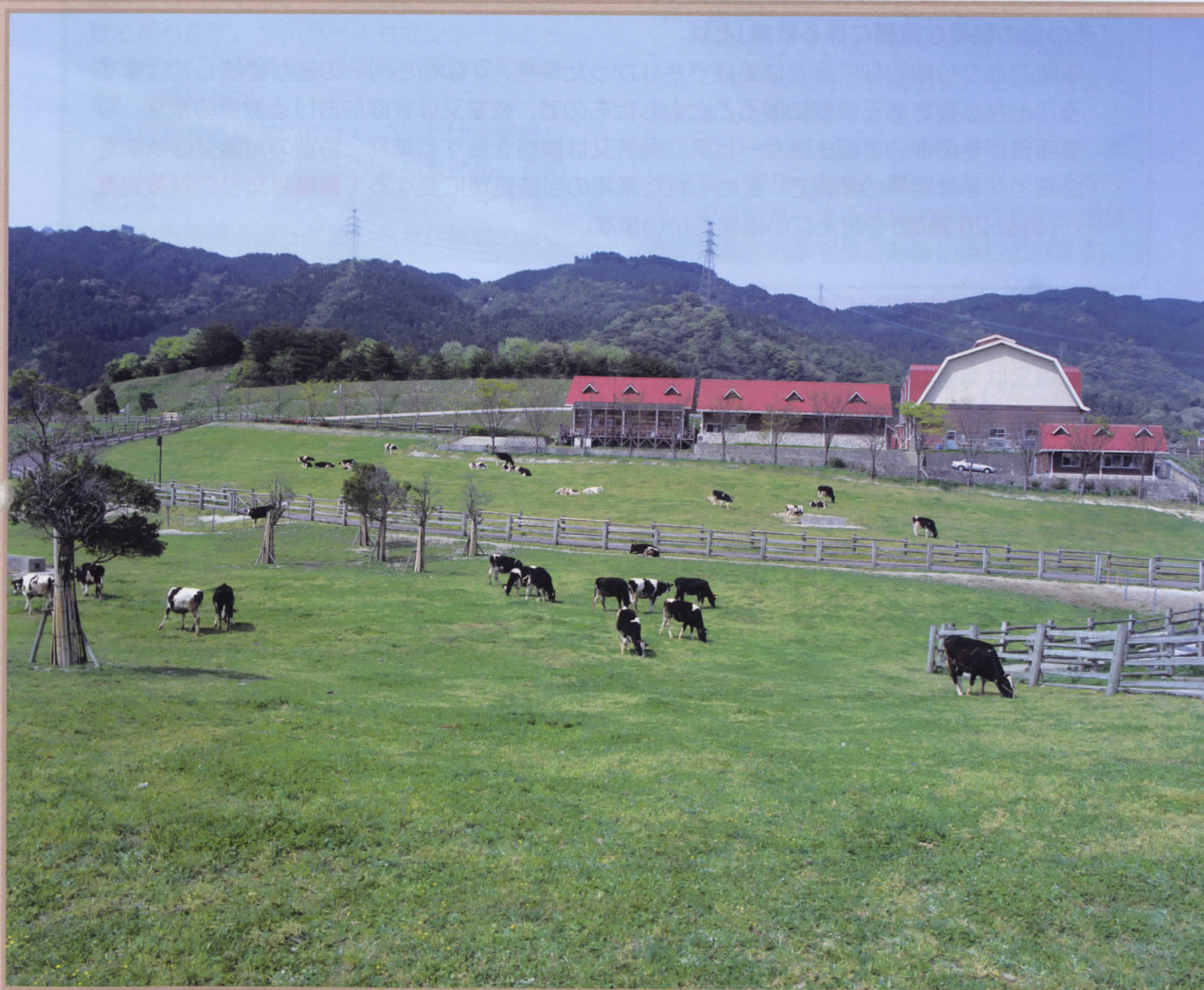
きつと、もっと、これから。

FUKUOKA

シルバー だより

CONTENTS

特集 安全・適正就業	1
支部通信／就業先情報（西区）	6
債権管理担当の紹介／安全標語入賞	14
会議開催状況	15
事業実績／事故発生状況	16
歴史散歩（早良区）	17
家事援助年間計画	18
ギャラリー報告	19
互助会だより	20
会員のひろば／健康講座	21
事務局からのお知らせ／編集後記	裏表紙



油山牧場 も～も～らんど（写真提供：福岡市）

（社）福岡市シルバー人材センター

安全・適正就業の取り組みについて

センターの事業方針の大きな柱は、安全・適正就業への取り組みです。

7月の「安全・適正就業強化月間」に伴い、各区で『安全適正就業促進大会』が開催されました。この機会に、改めて「安全・適正就業」の趣旨や必要性について、理解を深めましょう。

適正で適切な就業とは（シルバー人材センター事業「運営の手引き」等より）

1 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業であること。

「臨時的かつ短期的な就業」とは

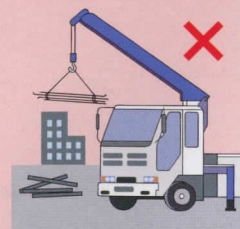
生計の維持を目的とした本格的な就業ではなく、任意的就業であって、連続又は断続的な概ね月10日程度以内の就業をいいます。

「その他の軽易な業務に係る就業」とは

臨時的かつ短期的な就業では処理できなかった業務、すなわち同一の者が継続して従事することが必要である業務に限ることとしたもので、教室又は家庭における教授の業務、家事手伝いその他の家庭生活サービス、免許又は資格を要する業務、特別の知識又は技能を必要とする剪定等の業務で、定められた業務の当該処理に要する1週間当たりの就業時間が「概ね20時間」を超えない就業をいいます。

2 危険・有害な仕事でないこと。

危険又は有害な作業を内容とする仕事、例えばクレーン、フォークリフト、プレス機械等の重量機器の操作、高所作業、皮膚疾患等を伴う有害物質の取扱い作業などで、高齢者にふさわしくないと判断される作業または、重大な災害に結びつく恐れのある作業は、シルバー事業として適切とはいえません。



3 指揮命令が発生しないこと。

発注者の指揮命令下で就業することは、雇用関係とみなされるので、そのような場合は、無料職業紹介事業又はシルバー派遣事業として取り扱うことになります。



4 従業員との混在作業でないこと。

製造ライン等に組み込まれて事業所の従業員と混在して作業をすることは、実態として雇用関係があるとみなされるので、そのような仕事を受注する場合は、独立して行えるようにする必要があります。



担当理事

ルール違反には レッドカードを

安全・適正就業対策担当理事

竹内 勝治



皆さんご安全に。日頃は会員皆様方には安全適正就業にご尽力、ご協力頂きありがとうございます。今年度は3月11日に予期せぬ東日本での大震災・大津波・原発事故が発生致しました、被災地の皆さんには一日も早く復興されん事を願い、お見舞い申し上げる次第であります。シルバー人材センターにおきましてもこの震災による直接・間接の影響を受けて居ります。

特に新規就業先の拡大については大変厳しく、暫くは好転の見込みが望めません。その様な環境の下、シルバー人材センターとして、如何なる施策を以って進むべきか議論のある

ところですが、それにはまず、会員各位が今まで培ってこられたスキル・経験を大いに発揮されルールを守って活動される事が必要であります。そして安全・安心な就業の場・就業機会を拡大する事だと思います。ルール遵守は安全適正就業の基本であります。最近ではルールを守らない・守れない会員が一部に見られます。事故に対する措置はシルバー保険でカバーされて居りますが、不適正就業会員への措置は旧来の規定では不明瞭でルール化されて居りません。一会員の不適正な行動がシルバー人材センター全体の信頼を失墜させる事になりかねません。そこで今年度より「適正就業検討委員会」をスタートさせ、ルール違反者については「就業停止」「賠償負担」など、ルールに基づき適切な処置を行う事を検討致しております。皆様方におかれましてはシルバー人材センターの基本理念であります自主・自立・共働・共助を基にルールを守り、安全就業・適正就業の重要性を再認識頂き、活動されます様、お願い申し上げます。

東

支部

安全・適正就業 について

安全・適正就業対策担当

広田 昌平



私たちの活動において、会員の皆様の安全確保・事故防止が最も重要なことであり、常に安全就業・安全管理に万全を尽くす必要があります。安全に健康で働く環境づくりとして、センターの中・長期計画で強調されている項目①事故ゼロ化への取組み強化、②就業前・就業後の安全確認の徹底、③就業時の安全確認の徹底、④適正就業の推進、⑤健康管理・衛生管理の徹底を推し進めると共に、共働・共助の理念のもと、皆様が持っておられる知識・経験・能力を十分に活用することによって、更なる社会貢献活動が期待できるも

のと思います。事故から自分を守るため、安全と健康管理は自分から行っていただきたいと思います。私自身も出来るだけ多くの会員の皆様に声かけを行い、明るく元気で快適な生活が送られるように、感謝の気持ちを持って接していきたいと思っています。なお、健康診断を早い時期に受診していただき、安全・適正に就業していただくことを望んでいます。



博多支部

事故発生「0」を目指して

安全・適正就業対策担当
松尾 慎治



博多支部では、昨年度（平成 22 年度）の事故発生総数は 13 件で前年度より 1 件少なくなりました。

しかし、事故の状況を見ますとちょっとしたミス、不注意が事故につながっていますので、会員の皆様一人ひとりが安全と危険は何時も隣合わせということを自覚して、事故防止に努めて頂きたいと思います。

7月には、全国シルバー人材センターの「安全・適正就業促進強化月間」です。博多支部では、7月30日（土）に平成 23 年度「安全・適正就業促進大会」を博多市民センターで開

催しました。

本年度も大会スローガンは『限りなく事故発生0を目指して』で、安全担当としては1件でも事故を減らすべく努力して参ります。

また、本年の重点目標として安全・適正就業の推進、事故防止の啓蒙、シルバー全体の厳守事項の徹底（飲酒運転防止）を掲げております。

特に、本年の「安全・適正就業促進大会」では、シルバー会員の就業途上などでの自転車運転中の事故が多発していますので、高齢者自転車安全運転 DVD の上映をし、自転車事故防止を重点的に取り上げました。



中央支部

考・安全

安全・適正就業対策担当
首藤 時男



7月8日（金）午後 1 時 30 分から福岡市市民福祉プラザで『安全・適正就業促進大会』を 139 人出席の下で開催しました。

江口委員長の3年前に当支部内で起きた死亡事故の話は、ホワイトボードを使っての熱弁に風化させてはならじとの思いがひしひしと伝わってきました。

また竹内理事の懇切な説明は大きな組織を守る遺漏無き姿勢を感じます。

引き続き九州医療センター脳血管神経内科脇坂医師の講演があり、脳の異変、予兆があったら直ぐ病院へ…パソコンを使っての最先端

の医師の説明には説得力がありました。

この講演は、九州医療センターの岡田研究センター長が脇坂医師の外来担当を調整していただくなど、ご厚意により実現したものです。

私は安全担当者として熱中症について説明しました。通常、身体にたまった熱を汗をかくことで体外に放出していますが、高齢者はこの体温調節が加齢などにより衰え、うまくいかなくなり熱中症になりやすくなっています。その予防として、普段から運動するなど汗をかくことを心がけましょう。

最後に今年度から向こう3年間のスローガン、何事も少し余裕を持って“安全は一声かけるゆとりから”をモットーに安全について取り組んで行く事を誓いあいました。



南

支部

いよいよ 夏本番 !!

安全・適正就業対策担当

江口

一



いよいよ夏到来。梅雨明けと同時に真夏の情報が各地から聞こえてまいります。

昨年のちょうど今頃、熱中症対策に追われ各現場を走りまわっていたのが思い出されます。タイミングよく本部より支給された遮熱型のヘルメットが大活躍でした。

そして、そのヘルメットが今年もまた、公共の河川敷や公園といった屋外作業の皆さんを日射病・熱射病から守っています。ヘルメットは別名、保安帽、保護帽ともいいます。

南支部では作業員全員のヘルメットに名前、血液型を表示し、万が一の事故にも迅速

に対応できるようにとの配慮をし御協力を願っております。

現場の皆さんは、それぞれ工夫を凝らし対策を講じておられます。塩分・水分の補給と同時に最大の予防は、一に睡眠・二に休養です…何かどこかのコマーシャルみたいですが、適度な睡眠・休養こそが明日への活力となります。

“メリとハリ”のきいた各職群班長さんを中心にこれからの猛暑を克服し、無事故で明るい職場となりますように、祈念いたします。ご安全に。



城南

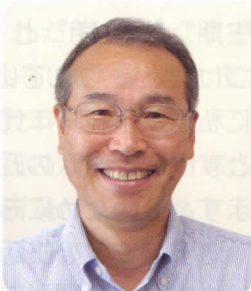
支部

全会員一丸と なって 事故「0」を！

安全・適正就業対策担当

金子

優



平成 23 年 7 月 6 日（水）13 時 30 分より城南市民センターで「安全・適正就業促進大会」が開催され 72 名の会員の皆さんが参加されました。

大会は堂園委員長の挨拶にはじまり、早良警察署交通総務係宗係長の交通講話、城南区役所総務課の生活安全推進専門員の大野氏による「高齢ドライバー事故防止のポイント」のビデオ等がありました。

城南支部の平成 22 年度事故発生状況を見ると、21 年度に比べ 1 件のマイナスでしたが、自動車事故が前年に比べ 3 件の増加とな

りました。

宗係長の講話の中で「いつもやっている仕事だから」「いつも通っている道だから」「いつもの様に出来るハズ」という油断、それが注意不足となり思わぬ事故につながるという内容の話がありました。

私達は仕事の中で予想される危険を予知し、準備万端で臨めば必ず事故は回避できると思います。

今回の安全・適正就業促進大会、地域懇談会等事ある度に啓蒙しあい全会員一丸となって事故「0」を目指します。



ユーモアを交えて講演する宗係長

早良

支部

安全就業と 健康管理

安全・適正就業対策担当

加藤 義春

健康は安全就業の基本です。

元気で怪我も事故も無く、健康第一で、就業できるように皆様と協力しつつ進めています。

平成22年度の事故発生件数は9件でした。昨年3件に対し6件増加しました。内訳は、傷害事故は2件減りましたが、賠償事故と自動車事故は各4件増加しました。事故を振り返ってみると、慣れや過信が原因で発生しています。

事故防止策は、決められた規則・ルールの遵守をすることです。事故を未然に防ぐため

の方策を考え、行動することが私の役目と考えます。

お客様から喜ばれ、楽しく仕事ができるように皆様と一緒に取組んで行きたいと思います。



7月22日(金)
『安全適正就業促進
大会』にて

西

支部

素晴らしい 林住期を 送りましょう

安全・適正就業対策担当

鈴川 幸典

今年4月に西支部安全・適正就業対策を担当させて頂き、あっという間に早や4か月が過ぎました。右も左も分からず、会員の皆様方から“一体何をしているのか?”とのお叱りの言葉を感じつつ、「毎日、健康で安全に就業されること」を念じて、未だ不十分ながら現場のパトロールを中心に今日に至っています。

「自主・自立、共働・共助」の基本理念の下に、会員の皆様には日々「安全就業」に励んでおられる姿に、頭が下がる思いで一杯です。古代インドでは、人生を四つの時期に分け“学

生期”“家住期”と“林住期”“遊行期”と名づけたと言われています。“林住期”とは正に私達シルバー年代に当たり、人生の黄金期とすべきと作家の五木寛之氏が書に記しています。そのためにも自分自身が、心身とも健康で安心安全な生活を送ることが大前提となります。安全就業に関しては、全国シルバー人材センター事業協会等からマニュアルや小冊子が数多く出されていますが、結局は一人ひとりが「健康・安全」を常に意識して、自己責任の下に、自分らしい素晴らしい林住期を送られることを願い、微力ながら精一杯頑張る所存です。ご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



支部通信

東

支部

ひがししづ

刈払講習会



6月27、28日、貝塚公園において、刈払の実技講習会が開催されました。

新規に刈払作業を希望された11名の会員が参加し、雨の悪天候のなか熱心に受講しました。

合羽を着ての講習に講師役の刈払班のベテラン会員も受講者のやる気に負けないよう指導にも気合が入っていました。石飛ばし防止ネットの活用、樹木・遊具の脚切り防止の事前草刈り他、安全対策に対する実地訓練を行いました。今後は体力の維持と技術の向上に努められて、公園の除草班で活躍されますよう期待をしています。

香椎駅前通り クリーンアップ大作戦

7月1日11時からJR香椎駅前通りにおいて、区役所自転車対策係の呼びかけで地元ボランティアを中心に、一般市民およびシルバー会員十数名も加わり、街頭指導を兼ねたクリーンアップ大作戦がくりひろげられました。市の条例に基づき自転車・ミニバイクの自転車駐輪場



の利用促進を呼びかけるとともに、駅前通りの放置自転車を撤去し、歩道のクリーンアップが1時間程で無事終了しました。雑然とした駅前通りがスッキリし、気持ちよく皆さんも通行されており、地域住民みんなのマナー・モラルアップの必要性を強く感じました。

安全・適正就業促進大会



7月19日「コミセン和白」において支部安全・適正就業促進大会が開催されました。広田安全担当の司会進行で開会し、石崎委員長、竹内理事の挨拶・安全についての説明・報告、会員を代表して支部安全委員の安河内成一会員による『安全就業宣言』の宣誓がありました。

また、東警察署の小鶴交通総務係長の講話、そして県警交通企画課による「安全寸劇」があり、就業中だけでなく日常生活の中においても

「安全・安心」の大切さを認識させられました。

広報委員 安武 和芳

博多

支部

はかたしぶ

第1回 区役員会の開催



平成23年度の第1回区役員会が6月20日(月)14時から開催されました。当日は、坂井委員長をはじめ役員の地域班長及び職群班長の42名が出席し、主な議題は下記のとおりです。

- ①支部運営委員会の報告
- ②4月・5月の経過報告
- ③安全・適正就業の報告及び安全大会
まず、坂井委員長の挨拶として

(要旨) 皆さん今日は。日々、地域班長さんにはシルバーだよりの配付や職群班長さんにはグループのいろいろなご指導を頂きありがとうございます。

4月から6月までの事故の状況をみますと発生件数は2件ですが、本当にちょっとした事故が起きており、今ひとつ注意をしていただければ防げたように思います。その他に、年齢的なこともあるのかも知れません。詳しい事故の状況については松尾安全担当がご説明します。

次に、本年度の安全大会のスローガンとして、事故「0」を掲げて推進して行きます。地域班長及び職群班長さんにも事故「0」を目指していただくようご協力をお願いします。

また、今年度の安全大会では『安全表彰』を考えております。『安全表彰』の対象となる職群・グループは17班あります。班ごとに無事故の期間を基準として、1年表彰・3年表彰・5年表彰を実施したいと思っています。

現在、1月あたり就業されている会員は、約600名です。この『安全表彰』の対象となる職群グループの会員数はその3分の2にあたる約400名で、事故「0」を目指していくうえで、大きな波及効果になることが期待されます。皆さんのご協力をよろしくお願いします。

続いて、各議題について倉岡副委員長ほかより説明が行われ、質疑応答を含めて了承され閉会となりました。

広報委員 松井 洋治

中央

支部

ちゅうおうしぶ

福浜校区(I・II)地域懇談会開催



6月18日(土)午前10時30分から福浜公民館で50名が参加し、白石福浜II地域班長の司会と芝田福浜I地域班長の進行で開催されました。

1. 江口委員長あいさつ及び概要説明

「今年は4月の中央区役員会で企画にマンネリ感があるとの意見を踏まえ、中央支部11箇所の公民館で“やさしく語り合い話し合う場”をモットーに実施いたします。」続いて



23年4月～23年5月の配分金について、配布された資料により詳細に説明がありました。

2. 首藤安全対策担当者から安全就業についての報告

23年4月～5月の全支部事故発生状況は7件である。6月～7月は剪定、除草作業が多い月でもあり、マニュアルを確実に実施することが大切です。

7月8日（金）中央支部安全・適正就業促進大会が開催されますので参加をお願いしますと要望がありました。

3. 自己紹介と意見交換

50名の会員の方々がそれぞれ自己紹介をされ、そのうち2名の方の発表をご紹介します。

○私は街頭指導員をしています、一般の方から周辺の地理、有名な場所などをよく聞かれるので私達も地域に何があるのか勉強しておかねばならないと思いました。

○私は病氣中で就業できませんが、個人的にできることとして、近くのバス停の掃除をしています。

《意見交換》では、

○安全巡回指導の方へ、もう少し時間をかけてもらいたい。

○安全指導は人によって違いがある。

などの意見に、岩男副委員長から「安全指導に従事される方はマニュアルを熟知し、班長、リーダーが就業前にしっかり打ち合わせをし、マニュアルを厳守させることが大切です。

なお、中央区では剪定、除草の会員が不足し

ていますのでチャレンジしてください」。

最後に江口委員長からシルバー人材センターの近況報告があり閉会しました。

区役員会開催



6月24日（金）午前10時から、役員会が開催されました。

1. 江口委員長の挨拶の後、配分金について配布された資料により詳細に説明がありました。続いて役員人事（地域班長）の交替について大田平尾校区地域班長、井手上高宮校区地域班長が退任され、新たに長沼平尾校区地域班長、萩原高宮校区地域班長が承認されました。

2. 北理事からシルバーだより6月号に掲載された刈払機による樹木、構造物の刃傷発生事故の説明がありました。

3. 首藤安全対策担当者から、23年度4月～5月までの事故状況が資料により説明された。「6月、7月は剪定、除草班の繁忙期で例年事故が多発しておりますので、暑さ対策と作業マニュアルの厳守を指導してください」。

なお、7月8日（金）支部安全・適正就業促進大会が開催されますので、参加呼びかけをお願いしますと要望がありました。

4. その他、江口委員長から親睦旅行の件と6月17日、18日開催された地域懇談会結果報告があり、質疑応答の後終了しました。

広報委員 井手上 勉

南

支部

みなみしづ

第1回区役員会開催



5月20日（金）午後1時30分から、支部会議室で荒木理事、矢口委員長代行はじめ内山副委員長、江口副委員長、役員等27名が参加して開催されました。委員長代行の挨拶に続き、次のような報告がありました。要約すると下記の通りです。

1. 事業実績報告（平成22年度）

配分金実績は2億4,300万円で前年より増加。

会員数は1,048名で男性718名、女性330名。

2. 事故関係

傷害事故は6件（前年比+4件）

賠償事故は9件（ $\times$ +2件）

自動車事故は6件（ $\times$ -3件）

3. 未収金について

昨年度からの未収金の一部は、4月に回収される。



4. 会費未納者

22年度未納者は20名（前年比+5名）

5. 新規入会者と退会者（H23.4.22現在）

入会者23名に対し、退会者64名

6. 連絡事項

・通常総会 5月27日（金）10時～15時

・シルバーギャラリー（7月3～5日開催）

上川端商店街復興広場前10時～16時

7. 審議事項

区役員（地域班長）の交代（新役員敬称略）

塩原地域 古賀 通成

若久地域 市川 昭一

承認を得ました。以上

日常生活の中で年を重ねるごとに、欠けてくるものがあります。集中力と注意力の2つです。この内、1つでも欠けるといわれる事故の原因になります。今年は、昨年夏の猛暑日ほどではないかも知れませんが、くれぐれも熱中症にはご注意ください。

カラオケ同好会の慰問



カラオケ同好会『雲雀』^{ひばり}会員の8名は、5月27日（金）の昼下り、小笹の老人福祉施設を慰問しました。

会場が大広間で既にカラオケの設備も準備されていました。会場には入所者の方が40名近く、施設の職員8名、会員8名が入室しても十分なスペースでした。入所者の方々は車イスを利用して移動されるために、集合に時間を要しました。職員の誘導並びにお世話されるご苦労を^ま目の当りに見ました。中山会長の挨拶に始まり、全員による合唱「ふるさと」



で幕開けです。

前半、会員4名が得意の曲を披露して、会場から拍手をもらいました。その後、内田会員による手品です。側には湯川会員がユーモアのある解説で場をわakashimashita。

後半、会員4名が熱唱すると施設の女性職員が車イスに座っている方に、マイクを向けられていました。最後は全員で「村まつり」を歌いました。

職員のお話によると、「昨日まで表情が硬く、無口だったのに、カラオケのおかげだと思いますが翌朝会ったら自分から言葉かけをしたのに驚きました」と言われました。歌は国境を越え、人種や老若男女を問わず、人間の心と心を結ぶ素晴らしいかけ橋であることを取材を通して学びました。

広報委員 高濱 一郎

城南

支部 じょうなんしぶ

安全・適正就業促進大会を開催

平成23年度城南支部安全・適正就業促進大会が7月6日（水）、あいにくの雨の中を72名が参加して城南市民センターで開かれました。大会の主な内容は次のとおりです。

1. 開会の挨拶
2. 事故発生状況等について
3. 交通講話（講師：宗雅晴早良警察署交通総務係長）



4. ビデオ「高齢ドライバー事故防止のポイント」鑑賞（解説：大野好文城南区市政推進部総務課生活安全推進専門員）

5. 防犯講話（講師：八尋敏嗣福岡市市民局生活安全課主幹）

開会の挨拶の中で堂園委員長は「今年度から各種自動車の運転の就業を廃止したので、自動車事故は減るだろうと予測していました。ところが、今年度に入って立て続けに2件の事故が起きています。一歩家を出た時から就業を終え、帰宅するまでが就業であるということを今一度認識して就業して下さい」と呼びかけました。

高島安全・適正就業担当からは、平成22年度及び23年度（4月1日～6月5日）の傷害事故、賠償事故並びに自動車事故の発生状況が報告されました。

平成22年度の事故全般の傾向は、次のとおりです。

- ①骨折などの事故が多い。
- ②若い会員の事故が多い。
- ③男性会員より女性会員の事故が多い。
- ④就業途上の事故が多い。



⑤自動車運転時のバックでの事故が多い。

城南区における平成 22 年度の自動車事故は 7 件発生（前年比 + 3 件）していますが、その大半はバックの際に起きています。運転する際には気をつけたいものです。

その他、熱中症にかかってもシルバー保険の対象とならないため、自己責任で体調などを管理すること、今年度から不適正就業の発生状況を逐次報告することなどが説明されました。

交通講話及びビデオ鑑賞では、近年増加している高齢者による交通事故の傾向と対策について、事例を交えながら話されました。

また、防犯講話では、高齢者が被害に遭いやすい悪質商法（靈感商法、点検商法、金融商品・健康商品被害など）や振り込め詐欺、東日本大震災支援金詐欺などについて、具体的な事例をもとにその対策が話されました。

広報委員 藤 勇三

早良

支部

さわらしば

「地域班長会」開催



梅雨の合間に晴天となった 6 月 21 日（火）の午後、地域班長 29 名が出席して井上副委員長の司会進行で「地域班長会」が開催されました。

先ず、五島委員長から「先の“平成 23 年度通常総会”に際して、早良支部は迅速な対応で

委任状の取り付け等を円滑に行うことが出来ました。これは皆さんのご努力の賜物です」との感謝の言葉がありました。又、支部の概況説明が次のようにありました。「4・5 月の支部実績は対前年比 98% で若干の減少となっています。これは運転業務が廃止となったことによります。市全体の実績は 100% で、西支部での駐輪場業務の復活が寄与しています。支部が 1 番大切な指標としています就業率は 57.2% で、男性 55.3%・女性 61.5% となっており、いずれも市平均を上回っています」。

次に班長交代の報告がありました。

（有田 1 地区）

高島紀久美会員→笠幸弘会員

続いて、安元就業開拓員から「マンションでの仕事を紹介して頂きたい」との要請がありました。

最後に、斉藤理事から 7 月 3 日（日）～5 日（火）に上川端商店街・復興広場で開催される「シルバーギャラリー」について案内がありました。

支部指針の設定

早良支部の指針
（コンプライアンスで和を大切に）
一 元気で明るく笑顔のある職場
一 整理整頓された綺麗な職場
一 思いやる行動・行為・発言
一 親切丁寧で好感な就業
一 健康は安全就業の源
一 共助・共働で安全第一就業
一 チームの和こそ安全就業
一 私利私欲よりチーム優先
一 一人の力より皆んなの力で
一 人生終身まで勉強

平成 23 年度の支部指針を次のように設定して、支部会議室等に掲示されました。

- 元気で明るく笑顔のある職場
- 整理整頓された綺麗な職場
- 思いやる行動・行為・発言
- 親切丁寧で好感な就業
- 健康は安全就業の源
- 共助・共働で安全第一就業

- チームの和こそ安全就業
- 私利私欲よりチーム優先
- 一人の力より皆んなの力で
- 人生終身まで勉強

五島委員長は「個人の利欲は捨てて、社会貢献・地域貢献を念頭に、共働・共助の精神で元気に、明るく、気持ち良く仕事をし、残された人生を楽しく過ごそうではありませんか」と話されました。

広報委員 高橋 勉



支部

にししぶ

ある日の「新入会員説明会」で



新入会員説明会風景

6月は1日（水）と14日（火）に「新入会員説明会」が開かれました。

当支部の会員は3月末で1,116名です。年間就業率は63.8%です。

その中で、今後の就業率アップを含めた支部事業の展開を図る為にも「新入会員」の入会は、「口コミPRの重要性」からみても、幅広い就業先開拓に貢献されるものです。

岩本委員長の挨拶の後、桑野副委員長から「シルバー人材センター会員のしおり」に基づいて、ビデオを交え項目ごとに詳しく説明していました。

一般的に情報の伝達・通達などは、「言葉」「文書」「画像」「イラスト」という手段がありますが、訴えるに効果が一番高いのは「ビデオ」

（画像）のようです。

出席者全員が、「シルバー人材センター」に深い興味を抱いて、説明を聞いている訳ですから、真剣に耳を傾けていました。

14日の出席者は9名でしたが、4名が手続き保留で退席され、5名が入会手続きをされました。

井上副委員長は「今日は入会手続き者の確率が低いです。通常はもっと確率が高いのに…」と言っておられました。

6月27日の「新入会員研修会」にみなさんが是非出席されて、当支部の発展と、自分の生き甲斐発見に活躍されることを願ったひと時でした。

第二回 区役員会開催



6月24日（金）に第二回区役員会が開催されました。

桑野副委員長の司会で会議が進められ、冒頭岩本委員長より挨拶がありました。

続いて、委員長より「会員登録状況と就業状況」についての現状説明がありました。

現在支部会員（5月末現在）は、男性743人・女性392人で、1,135人となっている事、そして就業率は、全支部平均に比べ、4ポイント位低いとの説明がありました。

就業率については、「地域的問題を含め種々要因が考えられますが、『発注者満足度調査前年比較』から見て、シルバー人材センターが、『市政だより』に次ぎ、『知人・友人』により認識いただいているケースが多く、今後とも、会員全員が『PR要員』という心掛けが、就業率

アップにも繋がるのではないだろうか」ということでした。

配分金実績状況の中で、当支部で大きく変動しているのは、「市営駐輪場管理業務」です。

今年度から始まった「駐輪場管理」が、前年までトップの位置を占めていた「各種運転業務」に取って代わりました。その結果は「官・民受注割合」で、過去は官 20 対民 80 であったのが、官 40 対民 60 の割合になりました。

西支部として、活動開始した「駐輪場管理業務」を、市民の皆さんから喜ばれ、愛される就業の場として活動することが、支部の「業績アップ」「就業率アップ」にもつながるのです。

事故発生状況の中で、本年度（4～5月）の状況と、昨年度までの全国の重篤事故について説明があり、改めて事故の悲惨さを認識することが出来ました。

そのような中で、ヒルトンホテル福岡シーホークでは、施設管理会社「(株) アサヒファシリティーズ九州支店」からの依頼で就業しておりますが、この度、2006 年以来無事故で安全に遂行したという事で「安全表彰」を受けました。

「これはひとえに、就業会員皆さんのたゆまぬ安全意識が表彰につながったものです」と委員長からお礼の言葉がありました。

今回の区役員会には、本部より友谷監事にご出席いただきました。

尚、本役員会において、6 月末日で岩本委員長が一身上の都合で退任されることになり、委員長代行として、岡崎幸雄氏の就任が承認されました。

広報委員 岡崎 幸雄

西区

にしく

就業先情報



社会福祉法人隆美会 飯盛保育園



飯盛山に抱かれた、自然豊かな環境！



飯盛山の麓に「飯盛保育園」があります。

昭和 28 年に金武村立飯盛託児所とし

て設立、幾多の変遷の末、平成 18 年 4 月 1 日に「飯盛保育園」として誕生しました。今年 3 月に新園舎が竣工しました。

新築の園舎は、自然豊かな、西区のシンボリック「飯盛山」に、抱かれるように建っています。

外壁のレンガが周囲の風景にマッチした建物で、階段廊下に使用されているウッドは、どことなく暖かさを感じます。又、どの部屋

からも飯盛山が見えるように設計され、窓は園児の目の高さに作られています。

田中園長の保育園にかける情熱と、保育理念の中に「めざす子ども像」の設定があります。その中のひとつに「自然に親しみ豊かな感性をもつ、たくましい子ども」とありますが、豊かな自然に囲まれた環境で、園児はたくましい子どもに育つことでしょう。

当センターから二人が就業しています。

宮野会員は花木の手入れをしており、園長さんは「藪が無くなり、丹精こめて育てていただいた花々が周囲を彩っています」と喜んでもらっています。

又、保坂会員は園舎内外の清掃をしていますが、登園して来る園児親子に親しく声をかける姿は、保育園の一員のような雰囲気です。

広報委員 岡崎 幸雄

債権管理担当の紹介

こんにちは。

昨年 11 月からこの業務を担当することになりました、
債権管理担当の田中幸雄です。

会員の皆様は、債権管理とはどのような業務なのか、あまりご存知ないのではないかと思いますので、ご紹介させていただきます。

会員の皆様が就業された対価として、お客様から代金を支払っていただきます。しかし、いろいろな事情で支払いが遅れたりする場合がございます。そこで、各支部と打ち合わせをしたうえで、お客様を訪問して支払いのお願いをする、というのが業務となります。

支払いが遅れる理由はいろいろありますが、何度もお会いし、根気強くお願いをしていきます。

債権管理業務は辛抱強く根気のいる業務ですが、会員の皆様が就業された大切なお金ですから、必ず支払っていただけるように、お客様と交渉しています。これからもこの業務に邁進してまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



平成 23 年度 安全標語入賞

平成 23 年 7 月 22 日（金）に福岡県シルバー人材センター連合会主催の「安全就業促進大会」の中で、平成 23 年度安全標語の入賞作品および入賞者の発表がありました。当センターからは、城南支部の中野博行会員が入賞されました。

【佳 作】

安全は 基本動作の 積み重ね

中野 博行



授賞式の様子。 中野博行会員（中央）

平成23年度会議開催状況(6月～7月)

●理事会

回	開催月日	議案
4	6月20日(月)	・正会員の入会について
5	7月27日(水)	・正会員の入会について

●総務部会(委員長理事の会議)

回	開催月日	議案
3	6月15日(水)	・未収金対策について ・役員の役割分担、費用弁償等の検討に係る方法について
4	7月20日(水)	・未収金対策について ・事務分担について

●業務部会(専任担当理事の会議)

回	開催月日	議案
2	6月17日(金)	・役員の役割分担、費用弁償等の検討に係る方法について ・平成23年度の取組について
3	7月15日(金)	・業務部会の取組について ・発注者満足度調査について ・平成23年度普及啓発活動について

●合同部会(総務部会と業務部会の合同会議)

回	開催月日	議案
2	7月27日(水)	・総務部会及び業務部会報告 ・安全就業ニュース(案)について ・平成23年度6月事業実績について

●安全・適正就業対策委員会

回	開催月日	議案
2	6月20日(月)	・事故状況について ・審議事項
3	7月27日(水)	・事故状況について ・審議事項

平成23年度 実績報告

平成 23 年 6 月末現在 ●会員数 7,145 名 ●就業者数 4,329 名
 男性 4,726 名 ●就 業 率 54.3% (月平均)
 女性 2,419 名 ●事業収入 5 億 1,813 万円

平成23年度 事故発生状況

平成 23 年 6 月末現在 ●傷 害 事 故 6 件 (前年同期 9 件 前年度比 - 3 件)
 ●賠 償 事 故 6 件 (前年同期 10 件 前年度比 - 4 件)
 ●自動車事故 5 件 (前年同期 6 件 前年度比 - 1 件)
 ●累 計 17 件 (前年同期 25 件 前年度比 - 8 件)

■傷害事故 (5 月 1 日～ 6 月末日)

日付	就業中 途上	性別	年齢	仕事内容	事故の状況	部位	症状	障害の程度		
								入院	通院	手術
5/21	就業中	女	77	清掃	雨に濡れた踏み石に足を滑らせ転倒した。	右手首 右肘	打撲		○	
5/25	就業中	男	63	刈払除草	ゆるやかな斜面で刈払い除草作業中にバランスを崩して転倒した。	アキレス 腱	断裂	○		○
6/7	途上	男	63	剪定	バイクで帰宅中、跨線橋を進行中に、誤って左により過ぎて街灯の鉄柱にぶつける。	左腕	切り傷		○	
6/13	就業中	男	71	刈払除草	斜面で集草作業中、ロープに足を取られ左足を地面に打付ける。翌日、痛みと腫れで病院へいく。	左膝	骨折		○	
6/14	就業中	男	74	刈払除草	除草作業中に、毛虫 (茶毒蛾) に刺される。	左首筋 両腕	湿疹		○	

■損害賠償事故 (5 月 1 日～ 6 月末日)

日付	性別	年齢	仕事内容	事故の状況
6/10	男	70	剪定	剪定作業時に、作業場所の隣が駐車場で車が停まっていたので相手に了解を取りシートを被せて作業を実施した。翌日、車に傷が付いたとのクレームが入った。
6/20	男	74	刈払除草	刈払作業中に、飛石事故が発生。作業現場近くに停めていたセンター・リース車両の右側窓ガラスを破損。
6/21	男	70	駐車場	立体式駐車場へ入庫してきた車のドアミラーが故障しており閉じれない状態であったが、会員が状況を確認して入庫可能と判断した。しかし、実際にはドアミラーが鉄骨に接触して破損した。
6/21	男	68	屋内作業	商品搬入受渡し業務のパン運搬ケースを定位置へ移動中に、ケースの積上げ不備と台車の振動でケースが崩れ、商品搬入の為に駐車していた車の左側面に傷を付けた。

■自動車事故 (5 月 1 日～ 6 月末日)

日付	性別	年齢	仕事内容	事故の状況
5/27	男	64	配食	配食中、交差点を左折する際、横断歩道手前で歩行者を発見し停止、安全を確認して発進したところ、左後方から直進中のバイクが自車の左後部側面に追突した。バイク運転者は転倒して足に擦り傷を負う。
6/5	男	68	配食	配食中、マンション駐車場で方向転換の為、バックしたところ、高さ 1 メートルのボールに気付かず衝突した。右後部バンパーを破損した。
6/22	男	67	配食	配食中、交番脇の路地より、大通りに出ようとしたところ、左側より進行してきた自転車と接触した。
6/27	男	75	刈払除草	作業員の昼食を購入するため車で出かけ、現場へ戻る時、交差点で左から進んできた自転車が接触し転倒、車両も左バックミラーを破損した。

黄檗宗 大悲山 千眼寺



福岡市早良区藤崎交差点（角に早良区役所）を西新方面に50m程行くと、左側に千眼寺の山門が見えます。

この寺は、福岡で唯一の中国福建省にある黄檗山萬福寺をはじめとする中国の伝統禅の流れに属する黄檗宗の禅寺です。この黄檗宗は臨済宗・曹洞宗とともに日本の禅宗3派の一つに数えられています。

開山は天祐海信（テンユウカイシン）と言う人で、京都の宇治に黄檗宗の本山を創建した“インゲン豆”で有名な隠元隆琦（インゲンリュウキ）禅師の教えを受け継いだ人です。この百道の一角に1698年（元禄11年）に、筑前一带の平安を祈念する道場として、この寺を建立されたのが始まりのようです。

黄檗宗については、今年の3月から5月にか



けて太宰府の九州国立博物館で「特別展・黄檗」と題して、多数の名宝が展示されましたので見学された方も多いかと思います。

江戸初期から中期にかけて日本に渡来した中国の僧は、中国大陆に伝わる色々な文化を日本に紹介しましたが、寺院における儀式作法の他にも書画や建築の技法などで大きな影響を与えました。

従って、この千眼寺には随所に中国風の様式（朱門や白壁、赤い縁取りの円窓、卍字くづしの欄干、蛇腹の天井などのほかに、寺宝として鉄眼版の大般若経600巻、隠元禅師などの書、中国画家による羅漢図など）が残されています。中でも本堂に安置されている中国渡来の3像（中心には南京からの釈迦如来座像・両脇には中国禅創始者の達磨大師像と伽藍守護者の関帝像）は圧巻です。

千眼寺は、一般の方の座禅研修や煎茶の道場としても門戸を開いているとのこと。

掃除の行き届いた庭園や境内を散策するだけでも心が落ち着き、日本の寺社とはちょっと違った異国的な雰囲気を味わうことができますので、一度訪れてはいかがでしょうか。

広報委員 高橋 勉

平成 23 年度 福祉・家事援助サービス班 事業計画表

福祉・家事援助サービス班の今年度9月以降の事業計画をお知らせいたします。
 各講習会、研修会の参加申込については、各支部の家事援助担当者までお問い合わせください。

また、センターホームページ内の会員専用にも、募集案内を掲載いたします。
 最新情報はホームページでご確認ください。

平成 23 年9月以降

月	本部主催会議	研 修 会 等	全市行事等
9 月	連絡会議 ②	22(木) 子育て支援短期講習会 ① 献立勉強会	
10 月	担当者会議 ④	会員基礎研修会 ④	普及啓発促進月間
11 月		9日(水)～11日(金) 子育て支援講習会 (3日コース) 掃除講習会 ②	
12 月	担当者会議 ⑤	会員基礎研修会 ⑤	
1 月		11日(水) 子育て支援短期講習会 ②	
2 月	連絡会議 ③ 担当者会議 ⑥	6日(月) 健康生活支援講習会 ② 会員基礎研修会 ⑥	
3 月		7日(水)～9日(金) 子育て支援講習会 (3日コース)	

日付が記載されている講習会等は、日程調整済みです。

日付が記載されていない講習会等は概ね1ヵ月前程度に周知します。

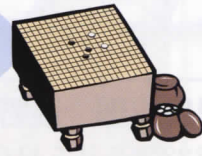
シルバーギャラリーを 開催しました！

去る7月3日～5日に、“シルバーギャラリー”が上川端商店街の復興広場にて開催されました。自分たちで作ったものを説明しながら販売をすることで活気にあふれ、また支部を超えて協力し合うなど交流もできました。この3日間は、予想をはるかに超える大盛況ぶりでした。皆様、このシルバーギャラリーにご協力いただき、ありがとうございました。





互助会だより



活動報告

第13回支部対抗囲碁大会 城南支部が完全優勝

第13回支部対抗囲碁大会が、7月24日南区の福岡市立老人福祉センター「若久園」で、42名が参加して開催されました。

80 畳程の大広間での迫力溢れた決戦で、時間内で勝負がつかず、判定者に任命された中央支部花谷七段、南支部羽野七段の厳格な裁定で勝敗を決する場面が多発される大会でした。

優勝は城南支部で4戦全勝の完全優勝を飾り、準優勝は3勝1敗の東支部、早良支部が同率で受賞されました。

南支部矢口委員長、互助会荒木理事からの激励の挨拶、担当支部の小田世話人のリードで記念すべき大会となりました。

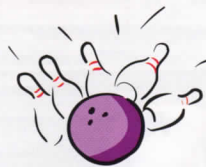


互助会事業活動日程が、一部変更となりました。

再度ご確認ください！

■ ボウリング大会

開催日時……平成23年9月16日(金)
集合時間……14時30分
開催場所……西新パレス
申込〆切……平成23年8月31日(水)
16時まで



■ ゴルフ大会

開催日時……平成23年10月19日(水)
集合時間……申込み締切後、追ってご案内します
開催場所……筑紫が丘ゴルフクラブ
申込〆切……平成23年9月5日(月)
16時まで

■ 歴史探訪・ハイキング

開催日時……未定
(追ってご案内します)

■ 芸能大会

開催日時……平成24年1月7日(土)
開催場所……ふくふくプラザ

※各行事の申込みは、各支部互助会担当者にお申し出ください。

会員のひろば



ー 早良支部 浅野さん ー 東北・福島でのボランティア活動が新聞に掲載されました

平成23年7月5日(火)の西日本新聞朝刊福岡都市圏版に浅野さんの記事が掲載されましたので紹介します。被災地の一日も早い復興をお祈り致します。(記事:西日本新聞社無償提供)

古里でボランティア

福島県人会の浅野さん

福岡市在住 「引き続き支援したい」

在福岡の福島県人会(約30人)の浅野雄さん(67)「福岡市早良区」が、同県南相馬市で災害ボランティアをした。浅野さんは同県伊達市出身で、「東日本大震災で甚大な被害を受けた古里の役に立ちたい」と、3年ぶりに帰郷した。福岡に戻ってから「引き続き福島を支援したい」と話している。浅野さんは東京の知人と一緒に福島入り。南相馬市で5月29日から4日間、救援物資の仕分けや清掃作業、アルバ

ムの整理などを手伝った。泥にまみれた卒業写真を手にし、「一瞬にして生活を奪った津波の恐ろしさを実感した」と話す。

その後、伊達市に2日間滞在した。中学時代の友人で農家の女性は「例年になく桃やリンゴの出来はいいが、福島産は売れるだろうか」と不安を募らせていたという。

いまだに収束の兆しが見えない原発事故。浅野さんは「岩手や宮城、茨城は復興に向けて動きだしているが、福島の

人たちは原発のせいで将来が見えない」という。福岡にも福島から避難してきた被災者がいる。「彼らは見ず知らずの土地で心細いはず。精神的な支えになりたい」と浅野さん。福島県人会では、福岡に避難した被災者の支援を検討、福岡にある東北の各県会とも連携を模索しているという。

浅野さんは「福岡でオール東北の支援体制をつくり、故郷の復興の手助けをしたい」と語る。

(野村大輔)



福島県人会の浅野さん。南相馬市の災害ボランティアの帽子を手に「次は福岡で古里を支援したい」と話す

俳句

追い山や

のぼせの臀しりの

力瘤こぶ

城南支部 藤 勇三



『西区交通安全奨励賞』受賞！

西支部会員 東司 健一さんは、「夏の交通安全街頭キャンペーン」開催に際し、周船寺校区安全協会会員としての貢献が評価され、「西区交通安全奨励賞」を受賞されました。



健康講座

第2話

熱中症予防について

水分はこまめに上手に！！

気温が高い夏は汗の量も増えるため、体内の不足した水分を補給しなければ、『熱中症』や『脱水症』の原因になります。しかし、がぶ飲みなど水分を一気に取ると、尿量が増し、ミネラル分が失われ、夏バテの原因を作ることになるので、水分はこまめに上手に摂りましょう！！

■1日の水分の摂り方の目安

☆水分としては、1,200CC(コップ 6～7 杯くらい)を目安に摂りましょう。

緑茶やコーヒーなどカフェインを含む飲み物は利尿作用があり、水分が尿として排泄されますので、水やスポーツドリンク、麦茶などがおすすめです。

☆特に寝る前(30 分前くらい)と朝起きた時は、血栓を防ぐためにも効果的です。

☆お風呂上りや運動で汗をかいた後にも、水分をこまめに摂りましょう。

注意点

- ・アルコール飲料は利尿作用があるので、水分補給としては不適。
- ・多量に汗をかいたらミネラルも一緒に失われるので、スポーツ飲料を飲むか塩分のある物と一緒に水分を摂取しましょう。

『熱中症』の予防には・・・「水分補給」と「暑さを避けること」が大切！！

※暑さの感じ方は人によって異なります。自分の体調の変化に気をつけましょう。

※年齢とともにのどの渇きを感じにくくなるので、こまめに水分を補給することが大切になります。のどが渇きを感じた時は、すでに水分が不足しています！



■もし熱中症になってしまったら...

- ① 涼しい場所に避難する
 - ② 衣服を脱ぎ、身体を冷やす
 - ③ 水分・塩分を補給する
- ※ 自力で水が飲めない、意識がない場合などは、すぐに救急車を要請しましょう。

事務局からのお知らせ

平成23年度 会費の口座振替について

シルバーだより6月号（第118号）でお知らせしましたとおり、7月20日に会費の口座振替を実施しましたが、預金残高の不足などで口座振替ができなかった方がいます。

上記の方につきましては、以下の日程で再度口座振替を実施しますので、実施日の前日までに、ご登録の預金口座に入金をお願いします。

◎口座振替実施日 平成23年9月20日(火)

■ 会費の口座振替「未登録」の方へ ■

会費のお支払いがお済みでない方は、お早めに納入下さい。

なお、会費を納入する際、口座振替の登録をしている方は、配分金等のお支払い口座から会費を振替で納入することができます。口座振替の登録を行うと金融機関へ出向く必要がなく、金融機関へ支払う手数料もかかりません。

まだ口座振替の登録を済ませていない方は、是非この機会にご登録下さい。

健康診断を受診し、安全・適正に就業しましょう！

シルバーだより6月号（Vol.118）に同封致しました「健康診断の受診報告について」のご提出はお済みでしょうか？

就業されている会員の皆様を対象に、健康診断を受診していただき健康状態を確認することで、安全・適正に就業していただきたいと考えております。会員の皆様が健康で安全に就業されることは、会員ご本人にとどまらず、ご家族の幸せにも繋がるものと思います。

趣旨をご賢察の上、この取り組みにご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。



早いもので8月も残り少なくなりました。「盆が過ぎたら正月が直ぐ来る」と言われるほど、1年の経過は早いものです。

今年も全国でシルバー人材センターの「安全・適正就業強化月間」が7月に実施されました。福岡市シルバー人材センター本部及び各支部においても、それぞれに「安全・適正就業促進大会」等を開催し、広く会員に周知徹底を呼びかけました。特に各支部の安全・適正就業対策担当の方は、会員の就業先訪問や安全講習会・事故防止対策に熱心に取り組んでいます。

会員の皆様に安全で適正な就業を提供できるよう、日夜努力されている事務局の皆さんにも感謝したいものです。

(Y.M)

「ふくおかシルバーだより」 発行元／(社)福岡市シルバー人材センター

◎ご意見やお便りをお待ちしています。

〒812-0044 福岡市博多区千代1丁目21-16

TEL(092)643-8200 FAX(092)651-5000

HP <http://www.fukuoka-sjc.org/> e-mail honbu@fukuoka-sjc.org